長崎

芥川龍之介

菱形の凧(たこ)。サント・モンタニの空に揚つた凧。うらうらと幾つも漂つた凧。

路ばたに商ふ夏蜜柑やバナナ。敷石の日ざしに火照(ほて)るけはひ。町一ぱいに飛ぶ燕。

丸山の廓の見返り柳。

運河には石の眼鏡橋。橋には往来の麦稈帽子。——忽(たちま)ち泳いで来る家鴨(あひる)の一むれ。白白と日に照つた家鴨の一むれ。

南京寺の石段の蜥蜴(とかげ)。

中華民国の旗。煙を揚げる英吉利(イギリス)の船。『港をよろふ山の若葉に光さし……』顱頂(ろちやう)の禿げそめた斎藤茂吉。

ロテイ。 沈南蘋（しんなんぴん）。 永井荷風。
最後に『日本の聖母の寺』その内陣のおん母マリア。
穂麦に交じつた矢車の花。 光のない真昼の蠟燭の火。
窓の外には遠いサント・モンタニ。
山の空にはやはり菱形の凧。 北原白秋の歌つた凧。
うらうらと幾つも漂つた凧。

底本：「芥川龍之介全集　第九巻」岩波書店
１９９６（平成８）年７月８日発行
入力：もりみつじゅんじ
校正：松永正敏
２００２年5月17日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。